

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
852		臨時地方道整備事業	01		一般会計
基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	08		土木費
			02		道路橋りょう費
			03		道路新設改良費
担当部課名		伊賀産業建設課	102		臨時地方道整備事業
作成者氏名	高島幸生	連絡先	45-9119	細目	01
					臨時地方道整備事業

事業の計画・内容

整備目的	未舗装区間や路面の破損箇所等、幅員狭小箇所及び曲線部の見通しの効かない箇所について、待避所の設置・線形の改良を進め通行の安全性の向上を図る。	整備内容	1 整備面積等	A=673.0㎡
			2 規模・構造	アスファルト舗装
			3 総事業費(千円)	4,558

投入資源

①投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)	根拠法令・要綱等 道路法 関連事業	
		0.5	0.5	0.5		
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600		
②支出内訳(千円)	事業費(B)	事業費(B)	4,558	5,871	10,000	事業年度 開始年度 平成 年度 終了年度 平成 年度
		委託料		1,341	1,800	
		工事費	3,410	4,530	8,200	
		その他	1,148			
合計(A+B)		8,158	9,471	13,600	進捗状況	
③財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金				年度 H17 H18 H19 H20 H21
		地方債		2,700		
		受益者負担				
		その他特財		2,000		
	一般財源	8,158	4,771	13,600		
上記①～③に関する特記事項						

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
道路改良及び舗装改修の実施箇所数(箇所)	地域における安全・安心の視点から、小規模な改良実施箇所の設定により、地域の実情に応じることができる。	平成 17 年度 2箇所

事業開始時からの状況変化等

伊賀支所管内のとくに生活道路と位置付けされる市道は、幅員狭小区間が多く、車同士の対向が困難な箇所、緊急車両が進入できない道路等が存在している状況であり、部分的な拡幅等の要望が多く寄せられていることから、今後も事業費の確保が不可欠である。

評価	必要性	4	地域住民の生活道路として利用されていることから、改良舗装等により生活環境の整備が進められ、安全安心な環境を広く市民に提供することができます。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		